

## 三重大学医学部クラスターについて（第11報）

2020年8月20日

三重大学医学部クラスターについて、本日8月20日時点の調査状況を報告します。

### 1. 調査状況

このクラスターは、7月23日から25日にかけて関西方面の訪問歴のある1名と、7月23日から24日にかけて和歌山県を訪問した者（11名）の2つの一次感染の経路が考えられています。濃厚接触者も含めて陽性が判明している24名の感染可能期間の行動歴を確認し、現時点で確認出来た濃厚接触者については、全て検査を終了しました。

なお、本学附属病院ならびに各関連病院において臨床実習に参加する学生には、感染者及び有症状者はいませんでした。

### 2. 感染者のその後の状況

8月3日に感染が確認されて県内の病院に入院し、その後、症状が改善したために退院した学生1名が、退院後に再度発熱、頭痛などの症状を自覚しました。そのため、8月18日に再検査を行ったところ、陽性が判明し、再度医療機関に入院しました。退院後は、本学保健管理センターの管理下において自宅療養していたため、特に行動歴はなく、県外訪問歴及び県外の方との接触歴もありません。他の23名については全員退院し、保健管理センターの管理下において自宅療養しています。

### 3. 医学部としての対応

上記陽性者を含め、学生、教職員等の経過観察とフォローを引き続き実施いたします。

また、万一の場合の感染拡大を防ぐために、授業はオンライン以外すべて中止、クラブ活動は当面の間、全面的に休止としています。アルバイト等の学生の学外での社会活動は、クラブ活動・社会生活に関する行動規範に沿って原則8月31日まで自粛を要請していますが、医学部学生委員会が感染対策や経済的な状況を考慮して、必要な指示をしております。

8月17日には第4回目となる医学部全員に対する緊急オンラインミーティング及び緊急キャプテン会議を開催し、行動規範を口頭と文章で再度周知徹底しています。

医学系研究科長・医学部長  
湊藤 啓広